

海老名市教育委員会

(平成29年 6月 定例会議事日程)

日時 平成29年 6月23日(金)

午前10時00分

場所 海老名市役所701会議室

教育長報告

日程第 1 報告第 11号 海老名市教育委員会関係職員の人事異動について

日程第 2 報告第 12号 海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会委員の委嘱について

日程第 3 報告第 13号 海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会について

日程第 4 報告第 14号 平成29年度海老名市社会教育委員の委嘱について



海老名市教育委員会

平成29年 6月定例会

◇教育長報告

1 主な事業報告

- 5月19日（金） 教育委員会5月定例会
最高経営会議
小中学校管理職歓送迎会
- 21日（日） ひびきあい塾
海老名市学童保育クラブ連絡協議会総会
- 22日（月） 県都市教育長協議会総会
- 23日（火） 交通安全教室視察
教育方法改善研修会Ⅱ
- 24日（水） 週部会
市交通安全対策協議会
学校食育担当者会
海老名市さつき会総会
海老名市三師会総会
- 25日（木） 映画パンフレット寄贈打合せ
部活動検討委員会
- 26日（金） 故志澤先生叙位叙勲伝達式
関東甲信越静教育委員会連合会総会
学校施設再整備計画策定検討委員会
- 27日（土） 小学校運動会
海老名小 有鹿小 大谷小 東柏ヶ谷小
杉久保小 杉本小
- 29日（月） 指導主事会議
- 30日（火） 人間関係づくり作成委員会
英語教育推進協議会
- 31日（水） 週部会
教育支援センター運営協議会
えびなっ子しあわせ懇談会
授業改善の手引き作成委員会

- 6月 1日(木) 市議会第2回定例会本会議(開会)
教育委員会辞令交付
市学校保健会総会
韓国京畿道知事表敬訪問(図書館視察)
- 5日(月) 今泉小学校朝会(英語朝会)
一般質問教育部部内ヒアリング
学校応援団連絡会
- 6日(火) 一般質問ヒアリング
杉本小学校市役所見学
奨学生選考委員会
市特別支援教育連絡協議会総会
- 7日(水) 朝のあいさつ運動(有馬小)
週部会
6月校長会議
- 8日(木) 文教社会常任委員会
福島と海老名の子ども交流会打合せ
海老名署管内学警連総会
- 9日(金) 社会教育委員会議
教育委員会6月臨時会
- 12日(月) 有馬小学校朝会(英語朝会)
教育委員会辞令交付
映画パンフレット寄贈打合せ
- 13日(火) 市議会第2回定例会一般質問
- 14日(水) 市議会第2回定例会一般質問
- 15日(木) 特学親の会
部活動検討委員会打合せ
- 16日(金) 市議会第2回定例会本会議(閉会)
奨学金返還事業打合せ
支援係打合せ
- 17日(土) 海老名共助社会づくり推進の会研修会
海老名市教育管理職退職者の集い
東柏ヶ谷小通学路要望
PTA指導者研修会
単P会長・教育委員との語る会

- 19日（月） 社家小学校朝会
支援係打合せ
教育課題研究会
- 20日（火） 海老名小学校朝会
- 21日（水） 週部会
総合教育会議打合せ
愛川町教育長来庁
- 22日（木） 上星小学校児童会児童との面談
小中一貫教育担当者会
部活動検討委員会
- 23日（金） 教育委員会6月定例会



2 市議会第2回定例会一般質問から

6月13日（火）、14日（水）に行われた、市議会第2回定例会一般質問において、次のとおり、10名の議員より12項目についての質問がありました。

<登壇順>

◇相原 志穂 議員

○中学校の配食弁当を美味しく食べられる工夫について

◇日吉 弘子 議員

○すべての子どもの安心と教育支援の充実について

◇佐々木 弘 議員

○学校給食について

○就学援助制度について

◇田中 ひろこ議員

○無業の若年女性への就労支援について

◇鶴指 眞澄 議員

○中学校の部活動について

◇西田 ひろみ議員

○いきづらさを抱えた若者への支援

◇永井 浩介 議員

○北朝鮮のミサイル問題を含めた国民保護計画の運用について

◇志野 誠也 議員

○コミュニティスクールについて

○図書館の特徴的な取組について

◇松本 正幸 議員

○人間らしい働き方について

◇戸澤 幸雄 議員

○障がい者施策について

これらの質問を受けて、各項目に、次のような主旨で答弁しました。

■中学校給食について

○平成23年度から全校実施した「給食弁当注文方式」を今後も継続する。

○喫食率を上げるというより、必要な家庭により安全でおいしい給食を提供できるように、周知の方法などを改善していく。

□支援教育について

- インクルーシブ教育と障がい者差別解消法に対応した教育を推進していく。
- デイジー教科書など、さまざまな個別のニーズに対応していきたい。
- 平成30年度中学校の通級教室を開設に向けて準備している。
- 就学相談を受けて、ひとりひとりの実態やニーズに合わせて個別支援計画を立て、支援教育を進めている。

□就学援助制度（スクールライフサポート）について

- 中学校入学に向けての小学校6年生への前倒し支給、申請による4月中の支給、小学校1年生・中学校1年生への補助額の増額などの改善を図っている。
- 今後も国の動向や保護者のニーズを勘案し、改善策を研究していきたい。

□若者支援について

- 昨年度、9ケースの相談があり、2件ほど就労につなぐことができている。
- 今後も県内の関係機関と連携して進めていきたい。
- 今年度、講演会を実施し、また、リーフレットを作成し周知を図っていきたい。

□中学校部活動について

- 課題となっている活動日数や教職員の負担については、今年度、立ち上げた部活動検討委員会で協議し、年度内に海老名市の方針を定める。
- 部活動指導員の任用や高等学校との連携については、検討・研究していきたい。
- 障がいのある生徒もともに活動をしている。今後は、パラ種目への取組も考えている。

□国民保護計画の対応について

- 海老名市国民保護計画に基づいて、学校の対応、児童生徒の安全確保について、危機管理と調整して検討していきたい。

- コミュニティ・スクールについて
 - 学校経営の方針の説明と承認、教育の課題の話し合い、子ども・学校支援の話し合いの場としての、学校運営協議会を設置したい。
 - 平成30年度全校実施に向けて、学校と話し合いを進めている。
 - リーフレットなどを作成して、家庭や地域への周知を図りたい。
- 図書館の特徴的な取組について
 - 指定管理者のアイデアにより、さまざまな自主事業が展開されていて、好評であり、依然、多くの来館者でにぎわっている。
 - 中央、有馬とも、利用者の声を聞き、それぞれの特性を生かした特徴的な取組により、新たな魅力の発信とサービスの向上が図られている。
 - 起業をテーマとした企画も実施されている。
- 教職員の働き方について
 - 部活動の負担軽減については、部活動検討委員会で協議し負担軽減を図りたい。
 - 海老名市では、市費で多くの教職員を配置しているが、国への教職員の定数改善要望を今後も継続していく。

以上でございます。



報告第11号

海老名市教育委員会関係職員の人事異動について

海老名市教育委員会関係職員の人事異動について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第3条第1項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第2項の規定により報告する。

平成29年6月23日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

報告理由

平成29年6月1日付及び6月12日付で人事異動を発令したため

教育委員会関係職員人事異動内訳

平成29年6月1日付

任期付職員・・・・・・・・・・・・・・ 1名

計 1名

平成29年6月12日付

課長級・・・・・・・・・・・・・・ 1名

係長級・・・・・・・・・・・・・・ 1名

計 2名

平成29年6月1日付

氏名	新所属	旧所属	備考
【任期付職員】			
みやだい 宮台 英治	教育総務課主事補		採用（任期付）

平成29年6月12日付

氏名	新所属	旧所属	備考
【課長級】			
やまだ 山田 敏明	職員課主幹	教育総務課主幹（兼）総務係長	
【係長級】			
あべ 阿部 優文	教育総務課総務係長	職員課給与厚生係長	

報告第12号

海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会委員の委嘱について

海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会委員の委嘱について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第3条第1項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第2項の規定により報告する。

平成29年6月23日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

報告理由

海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会委員を委嘱したため

海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会 委員一覧

任期 平成29年4月1日から
平成31年3月31日まで

職	氏 名	選出区分
委員長	はよう まさあき 葉養 正明	大学教授
委員長 職務代理	じょうこう ひであき 城向 秀明	学識経験者
	うえだ たかやす 上田 貴康	学識経験者
	うめざき れいこ 梅崎 玲子	学識経験者
	かとう まさよし 加藤 昌義	学識経験者
	さとう はるお 佐藤 晴雄	大学教授
	はぎわら こうぞう 萩原 好三	学識経験者
	みき のりこ 三木 紀子	学識経験者

報告第13号

海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会について

海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第4条第1項の規定により報告する。

平成29年6月23日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

提案理由

第1回学校施設再整備計画策定検討委員会を開催したので、結果報告を行いたいため

平成 29 年度第 1 回海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会

【結果報告】

1. 開催日時：
平成 29 年 5 月 26 日（金） 14：00～16：05
2. 開催場所：
海老名市役所 6 階 第 2 委員会室
3. 出席者：
 - 委員・・・葉養委員、城向委員、加藤委員、萩原委員、三木委員、上田委員、梅崎委員（佐藤委員欠席） 以上 7 名
 - 事務局・・・教育長、教育部長、教育部次長、教育総務課長、施設係長、施設係副主幹、施設係主事
 - 傍聴者・・・1 名
- 4 概 要：
 - (1) 委嘱状の交付
 - (2) 自己紹介、委員長及び副委員長の選出
 - (3) 審議事項
 - ・海老名市の教育と学校づくりについて
 - ・文部科学省（国）の動向について
 - ・公共施設再編計画との関係について
 - ・学校施設再整備計画の概要について
 - ・スケジュールについて
 - ・自由意見

○ポイント

海老名市の教育、文部科学省の動向、海老名市の公共施設再編計画及び学校施設再整備計画等について説明を行い、委員の共通理解を図った。

○主な質問及び意見

- ・学校長寿命化は、個性的な建物にするのか、平準化してコスト削減するのか？
- ・会議回数 4～5 回で計画をまとめることができるか不安である。また、児童の急増が予測される地域は速やかに決める必要がある。
- ・数字（小学校 8 校、中学校 4 校）は一人歩きするので注意が必要である
- ・学校は地域の人が集まる場所。保育園等と複合化し残せるようにしたい。
- ・同じサービスを受けられるのが公立学校。また、500 人規模が丁度よい。
- ・改修工事は良いが、完成前に卒業ということもあり、短期間での工事を。
- ・少子化が進んでいる地域にこれまでと同様の施設が必要なのか？耐久性があるものは、用途変更して継続使用する等、地域にあった施設にする必要がある。
- ・短期計画では、危機的状況の改修についても同時に考える必要がある。

「海老名市学校施設再整備計画」について

基本的な考え方

「持続可能」な「夢」のある計画

本計画では、学校施設の再整備を行うことで、本市の「持続可能」な行政運営を可能とするとともに、現在及び未来のえびなの子どもたちに「夢」を与えることができる計画を策定します。

学校施設の現状

昭和40年代から昭和50年代後半にかけて児童生徒急増期に、一斉に整備された学校施設は、床面積約96千㎡のうち、築年数が30年以上の施設が約80千㎡と全体の8割を占め、老朽化が進んでいるため、その対策が喫緊の課題となっています。

また、人口減少が予測される中、健全な財政維持のためにも、公共施設の効率化が求められています。

計画概要

【短期計画（10年）】

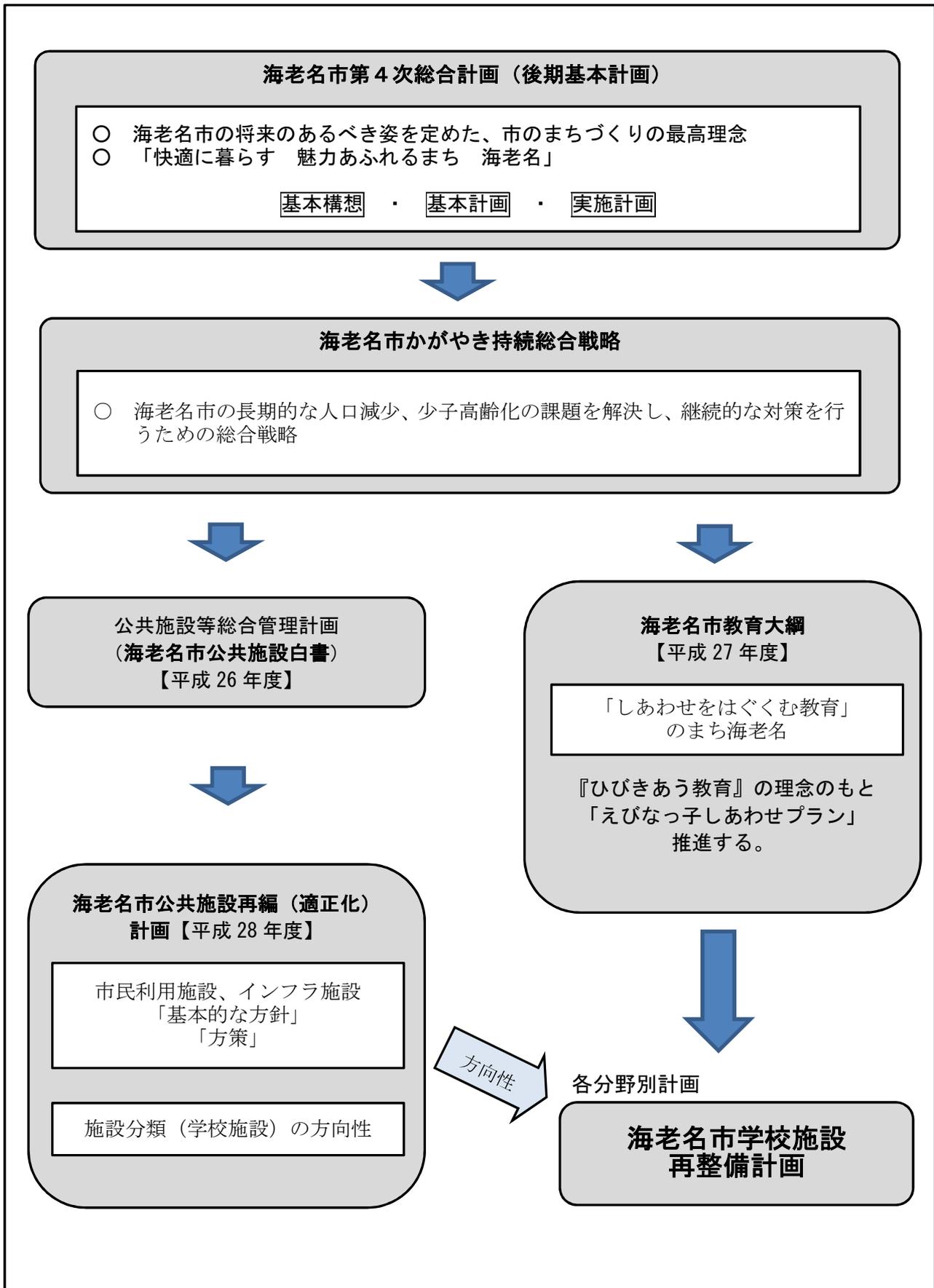
学校施設（校舎、屋外運動場）の整備（建築、電気設備、機械設備）を計画的に実施することで、「良好な環境」を維持すると共に「施設の長寿命化」を進め、整備コストの縮減を検討します。

【中長期（20年）・超長期（40年）計画】

- 児童・生徒数の推移や他の公共施設の機能を踏まえ、小中学校及び他の公共施設の再編や「小中一貫教育の推進」や「施設の効率化」を検討します。
- 従前の学校施設の枠にとらわれず、児童・生徒はもちろんのこと、地域住民（幼児から高齢者まで）の利用を考慮し、学校を地域コミュニティの核とすべく、地域に愛される施設となるよう「多機能化」、「複合化」の検討をします。

※ 財政面からは、将来的に生産年齢人口が減少し、市税収入の減少が想定されるため、財政的な制約が強まり、公共施設に対する投資余力が小さくなることを前提とし、事業費の検討を行います。

海老名市学校施設再整備計画 イメージ



海老名市学校施設再整備計画の概要について

1 計画の概要

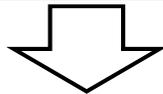
海老名市学校施設再整備計画では、学校施設を取り巻く課題について、短期・中長期・超長期に分け、整理・検討を行っていきます。

(1) 短期計画（10年）

- ① 施設、設備の劣化状況や躯体の健全性の評価
- ② これまでの整備状況のまとめ
- ③ 敷地条件等の整理
- ④ 施設の活用状況の把握

+

- ア 目標使用年数の設定
- イ 整備レベル・維持管理レベルの設定
- ウ 投資限度額（財政制約ライン）の設定・シミュレーション
- エ 児童生徒数の推計



直近10年間の保全計画 = **短期計画**

※ 建物の長寿命化・維持管理コストの平準化の視点から、学校施設の棟ごとの改修についての保全優先度を設定します。

(2) 中長期（20年）・超長期計画（40年）

- ① 将来的な人口推計、児童生徒推計
- ② 地域特性のまとめ
- ③ 施設の活用状況の把握
- ④ 学校周辺の公共施設の状況



40年後の学校の在り方、方向性 = **中長期・超長期計画**

※ 従前の学校施設の枠にとらわれず、学校を地域コミュニティの核とすべく、地域に愛される施設となるよう、学校施設の「複合化」、「適正規模の確保」といった面から、現状の分析、課題の整理、方策の提案等について提示します。

2 計画策定について

(1) 短期計画

- ・ 文部科学省 小学校及中学校施設整備指針
- ・ 学校施設の長寿命化計画策定に係る手引
- ・ 学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

コンサルタント業者による調査、分析結果をもとに、上記基準に準じて素案を作成します。

(2) 中長期・超長期計画

① 海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会

大学教授、学校関係者など外部有識者で構成する審議会において、専門的見地から、調査、審議を行う。

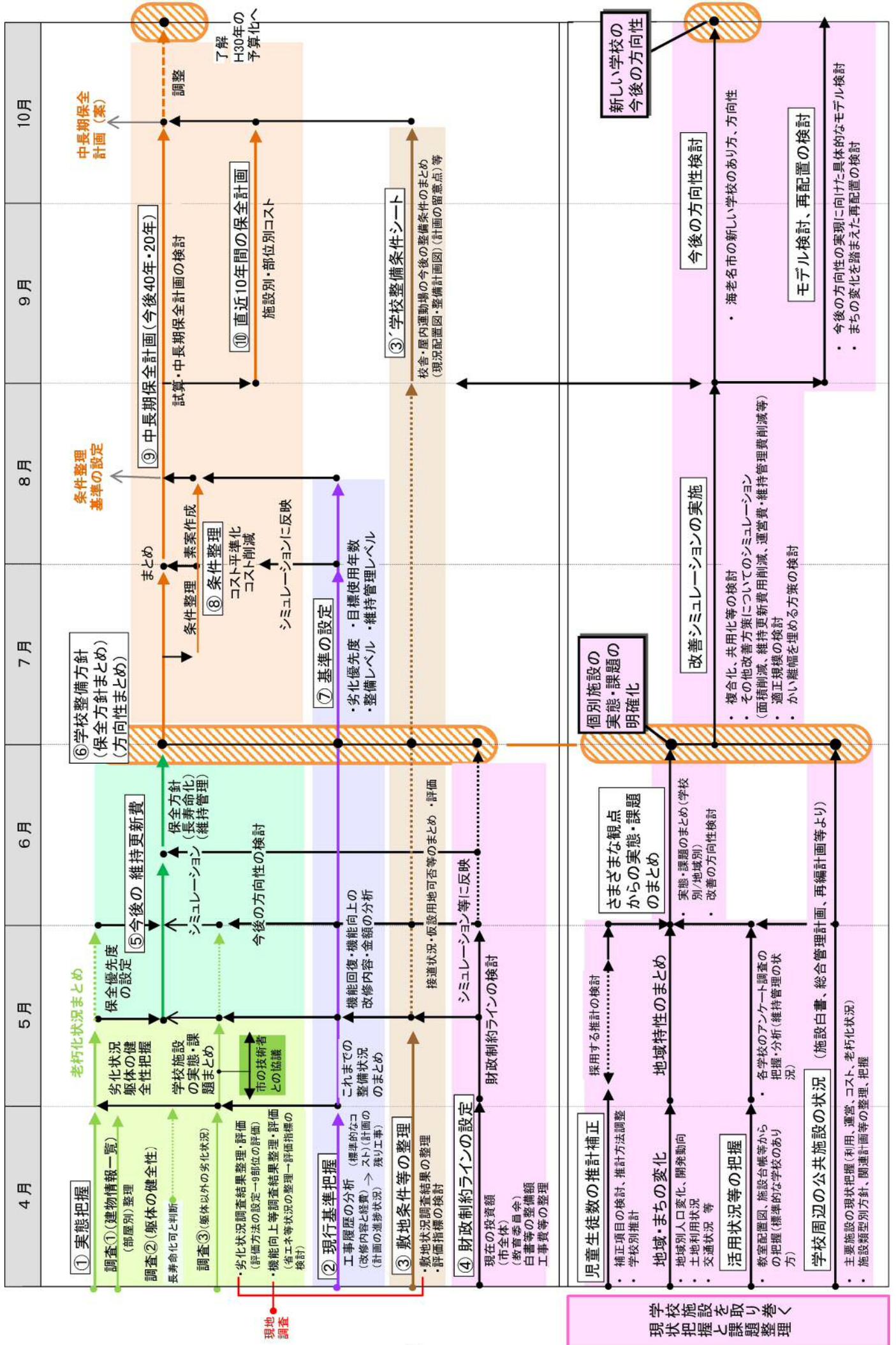
② 海老名市学校施設再整備計画庁内検討委員会

学校施設と他の公共施設との複合化といった視点から、公共施設を所管する関係部局からの意見の聴取、情報の共有、調査検討を行う。

3 スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設の現状把握、劣化状況調査	→											
コストシミュレーション		→										
保全基準の設定、課題の整理				→								
複合化・再配置の検討 方策の提案				→								
短期計画（案）の策定							●					
長期計画（案）の策定									●			
学校施設再整備計画の策定												●
策定検討委員会（審議会）		■		■		■		■		■		

海老名市学校施設長寿命化・再整備計画策定業務 スケジュール



報告第14号

平成29年度海老名市社会教育委員の委嘱について

平成29年度海老名市社会教育委員の委嘱について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第3条第1項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第2項の規定により報告する。

平成29年6月23日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

提案理由

任期満了に伴い、新たに委嘱したため

平成29年度海老名市社会教育委員名簿

任期：平成29年6月1日～平成30年5月31日

No.	氏 名	区 分	備 考
1	ウエマツ ケイコ 植松 慶子	学識経験者	継続
2	ウメダ シンジ 梅田 眞司	家庭教育関係者	新規
3	クリヤマ アキオ 栗山 明郎	学識経験者	継続
4	サクライ アツシ 櫻井 篤	学校教育関係者	新規
5	サンベ マサヨ 三部 雅世	社会教育関係者	継続
6	シオジ ヒトミ 塩地 ひとみ	学識経験者	継続
7	タクシマ イサオ 多久島 勲	学校教育関係者	継続
8	マエノ カゾウ 前野 佳三	社会教育関係者	新規
9	モリタ ヒサシ 森田 壽	社会教育関係者	継続
10	ヤマダ ノブエ 山田 信江	社会教育関係者	継続

